

〒 980-0872
宮城県仙台市青葉区
星陵町2-1

テスト予約 19 結果回付 様

SAMPLE

生年月日: 1947年1月1日
検査会場: 地域支援仙台センター
検査日: 2021年10月29日
予約コース: 3 : 成人詳細三次調査
予約番号:

詳細三次調査 健康調査結果



東北大学 東北メディカル・メガバンク機構では、2013年5月から、健康調査を通じて、一人ひとりの体質と生活習慣・環境の組み合わせが、健康状態にどんな影響を与えるかを調べています。健康調査は、採血・アンケート調査などのベースライン調査・詳細二次調査・詳細三次調査・ゲノム解析・その後の健康状態に関する追跡により、一人ひとりの体質に合った予防法や治療法を開発するための大切な基盤作りになります。多くのみなさんからご協力をいただき、誠にありがとうございました。

今回は、その中から、COVID-19抗体検査、甲状腺機能検査、心電図などの生理機能検査、腎機能に関する結果をお返し致します。ご一読いただき、ぜひ今後の健康づくりのためにご活用ください。

本研究の健康調査は、皆さまの健康状態を総合的に診断するものではありません。健康管理のため、健康診断は必ず定期的にお受けください。

また、お身体に不調を感じた場合には、お早目にかかりつけの医療機関を受診してください。

本健康調査の目的

1.被災地での疾病予防

被災地域では、①睡眠やこころの健康への悪影響、②治療中断の問題、③喫煙再開・飲酒量増加などの問題点がすでに報告されております。これらの問題は今後の疾病発症を増加させる可能性を持っています。東北メディカル・メガバンク事業ではこれらの問題点と、その後の疾病発生の関連を追跡していくことで、被災地で増加が懸念される疾病予防に貢献したいと考えています。

2. 個別化予防・医療の確立

体質（遺伝子）と生活習慣が病気の発症に与える影響が少しずつ明らかになってきました。たとえば、お酒の健康に対する影響は、お酒に強い・弱い遺伝子を持つかによって異なることが知られています。また、ある薬の効果も遺伝子のタイプによって異なることが知られてきました。

しかし、生活習慣や薬剤と体質の組み合わせが、健康に及ぼす影響が十分に明らかとなっているとは言えません。東北メディカル・メガバンク事業では、個人の体質（遺伝子）にあわせた予防法・治療法の開発を実現するために健康調査を行わせて頂きます。



結果概要のお知らせ



* 詳細結果は以降のページにあります

	項目名	単位	基準値	今回 2021年10月29日 3:成人詳細三次調査	前回 2017年10月10日 2:成人詳細二次調査	前々回 2014年11月12日 (地域住民(支援センター調査))
体力・身体測定	握力 右	kg	4ページ参照	19	26	29
	握力 左	kg		25	28	30
	腹囲	cm	男性 85未満 女性 90未満	94	99	100
血圧	収縮期血圧	mmHg	140未満	130	—	—
	拡張期血圧	mmHg	90未満	73	—	—
純音聴力	平均聴力 右耳	dB	25 dB未満	35	—	—
	平均聴力 左耳	dB	25 dB未満	56	—	—
動脈	平均IMT	mm	1.1未満	—	0.900	1.020
肺の検査	肺活量	L	—	2.91	***	2.93
	%肺活量	%	80 以上	89.2	***	79.3
	努力性肺活量	L	—	3.29	***	2.41
	一秒量	L	—	2.59	***	1.57
	%一秒量	%	100 以上	107.0	***	54.9
	一秒率	%	70 以上	81.66	***	64.98
	肺年齢	歳	—	71	***	95
眼科的検査	眼圧 右	mmHg	10.0 ~ 20.0	8.3	8.9	13.9
	眼圧 左	mmHg	10.0 ~ 20.0	8.6	10.1	17.5
	眼軸長 右	mm	22.01~ 26.99	20.11	21.00	21.00
	眼軸長 左	mm	22.01~ 26.99	28.33	27.11	29.00
	屈折 球面度数 右	D	11ページ参照	2.50	2.50	-1.25
	屈折 球面度数 左	D		1.75	1.25	1.25
	屈折 乱視度数 右	D		-2.50	-2.25	-2.25
	屈折 乱視度数 左	D		-3.00	-2.25	-5.25
	屈折 乱視軸 右	D		91	120	133
	屈折 乱視軸 左	D		63	66	68
	眼底疾患		—	有	判定不能	有
	視神経乳頭陥凹拡大の有無		—	無	無	右眼無
歯科	むし歯		—	無	無	無
	歯周病		—	無	有	有

注：検査値の「—」は禁忌に該当したため測定できなかった検査項目、又は検査当時実施していなかった項目であることを示します。また、ご妊娠中の方は、通常と体の状態が異なるため、健康状態を正確に反映していない可能性があります。今回の結果はあくまで参考値となります。

項目	今回	判定コメント	
	前回		
	前々回		
腹囲	2021年10月29日	腹囲は基準値より高めです。	
	2017年10月10日	腹囲は基準値より高めです。	
	2014年11月12日	腹囲は基準値より高めです。	
血圧	2021年10月29日	特に今すぐ心配な所見はありません。	
	2017年10月10日		
	2014年11月12日		
純音聴力	2021年10月29日	中等度の聴力低下が認められます。耳鼻咽喉科でより詳しい検査を受けることをお勧めします。	
	2017年10月10日		
	2014年11月12日		
動脈	2021年10月29日		
	2017年10月10日	基準値範囲内です。	
	2014年11月12日	基準値範囲内です。	
心電図	2021年10月29日	異常所見を認めます。医療機関を受診して精密検査を受けることをお勧めします。	
	2017年10月10日	異常所見は認めません。	
	2014年11月12日		
肺活量	2021年10月29日	異常なし。	
	2017年10月10日	測定値を得られませんでした。	
	2014年11月12日	肺機能がかなり低下しています。	
眼圧	2021年10月29日	経過観察。	
	2017年10月10日	経過観察。	
	2014年11月12日	特に問題はありません。	
眼軸	2021年10月29日	眼軸が長めです。視力が落ちてきているなどの症状がある場合には、精密眼底検査を勧めます。	
	2017年10月10日	眼軸が長めです。視力が落ちてきているなどの症状がある場合には、精密眼底検査を勧めます。	
	2014年11月12日	眼軸が長めです。視力が落ちてきているなどの症状がある場合には、精密眼底検査を勧めます。	
眼底	2021年10月29日	有	眼底精査をお勧めします。
	2017年10月10日	判定不能	
	2014年11月12日	有	眼底精査をお勧めします。
視神経	2021年10月29日	無	特に問題はありません。
	2017年10月10日	無	特に問題はありません。
	2014年11月12日	右眼無	特に問題はありません。
歯科	2021年10月29日	異常なし	
	2017年10月10日	要受診	
	2014年11月12日	要受診	

注：日付が入っているのに判定コメントが空欄の箇所は、その検査を実施していないことを示します。

体力の検査結果のお知らせ

体力の検査

右手握力 (19) Kg 左手握力 (25) Kg

参考 年齢ごとの平均の握力 (Kg) - 平成23年度体力・運動能力調査結果 文部科学省

平均握力 (Kg)	年齢	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79
	男	47	48	48	48	48	48	47	45	42	39	37	35
	女	28	29	29	29	30	29	28	27	26	25	23	22

平均握力 (Kg)	年齢	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
	男	9	11	13	15	17	20	25	31	36	39	41	43	43	44
	女	9	10	12	14	17	20	22	24	26	26	27	27	26	27

身体測定

腹囲 (94) cm

(基準値 男性85 cm未満、女性90 cm未満)

おなか回りを測ります。基準値より高い場合は内臓脂肪型肥満の可能性があります。
生活習慣病は、内臓脂肪の蓄積が原因の一つとされており、食べ過ぎ、運動不足、タバコの吸い過ぎ、お酒の飲みすぎ、ストレスをためるなどの生活習慣を改めていくことが大切です。

コメント：

腹囲は基準値より高めです。

血圧の検査結果のお知らせ

血圧測定

収縮期血圧 (130) mmHg (基準値140mmHg 未満)

「腕の血圧」です。最高血圧とも言います。
血圧が高いと動脈硬化や脳卒中、心筋 塞などの病気のリスクが高くなります。

拡張期血圧 (73) mmHg (基準値90mmHg 未満)

「腕の血圧」です。最低血圧とも言います。
血圧が高いと動脈硬化や脳卒中、心筋 塞などの病気のリスクが高くなります。

コメント：



特に今すぐ心配な所見はありません。

耳の検査結果のお知らせ

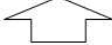
純音聴力検査

- 日常会話では、500～4000ヘルツ（Hz）の高さの音の聞き取りが重要です。
- 平均聴力レベルは4周波数（500Hz、1000Hz、2000Hz、4000Hz）の純音を聴いたときの4周波数の聴力レベル（デシベル、dB）の平均を示しています。

平均聴力レベル

右耳 （ 35 ） d B

左耳 （ 56 ） d B

音の大きさ		難聴区分	聞こえ方
 小さい	25 dB未満	正常	ほとんど不自由はありません。
	25 dB以上40 dB未満	軽度難聴	小さな声や騒音下での会話の聴き間違いや、聞き取りの困難を自覚することがあります。補聴器の適応となることもあります。
	40 dB以上70 dB未満	中等度難聴	普通の大きさの声での会話において、聞き間違いや聞き取りの困難を自覚することがあります。補聴器の良い適応となります。
大きい 	70 dB以上90 dB未満	高度難聴	非常に大きな声か補聴器を用いないと、相手の声が聞こえないことがあります。補聴器を使用しても、言葉の聞き取りには限界があります。
	90 dB以上	重度難聴	補聴器を用いても、聞き取れないことが多くあります。人工内耳が適応となることがあります。

日本聴覚医学会、難聴対策委員会の「難聴（聴覚障害）の程度分類について」を参考

コメント：



中等度の聴力低下が認められます。耳鼻咽喉科でより詳しい検査を受けることをお勧めします。

動脈硬化の検査結果のお知らせ

頸動脈超音波検査

頸動脈超音波検査は超音波で頸の動脈に動脈硬化がないかどうかを観察する検査です。頸動脈エコーとも言います。頸動脈の内膜と中膜という部分の血管の厚さを表すIMT（Intima Media Thickness）は全身の血管の動脈硬化の度合いを示す代表的な指標です。IMTが厚いと将来の脳卒中や心筋 塞発症と関係があると考えられます。

なお、今回の検査は簡易式ですのでプラークは測定しません。プラークはIMTと同じくらい重要な動脈硬化の指標です。IMTが正常値であってもプラークで動脈硬化が見つかることがしばしばあります。したがって、今回の検査だけでは動脈硬化や頸動脈の病気がまったく無いとは言えません。心配な方は医療機関や人間ドックなどを受診してください。

右IMT （ — ） mm

左IMT （ — ） mm

左右の平均IMT （ — ） mm （基準値1.1mm未満）

大きい値ほど動脈硬化の程度が強いことを示します。基準値の1.1mmを超えると狭心症や心筋 塞などの心臓病や脳卒中のリスクが高くなります。

コメント：

心電図の検査結果のお知らせ

心臓が動く時に発生する電気を波形として表したもので、不整脈や心肥大・狭心症・心筋 塞などの診断に有用です。

心電図検査結果 （ 異常所見あり精密検査を要する ）

コメント：

異常所見を認めます。医療機関を受診して精密検査を受けることをお勧めします。

肺の検査結果のお知らせ

呼吸機能検査

肺活量 (2.91) L

胸いっぱい息を吸い込んでたくさん吐き出した息の量です。

%肺活量 (89.2) % (基準値80%以上)

実測した肺活量の予測肺活量に対する割合です。

努力性肺活量 (3.29) L

胸いっぱい息を吸い込んで、一気に吐き出した息の量です。

一秒量 (2.59) L

努力性肺活量の最初の1秒間に吐き出せた呼出量です。

%一秒量 (107.0) % (基準値100%以上)

実測した一秒量の予測一秒量に対する割合です。

一秒率 (81.66) % (基準値70%以上)

1秒量が努力性肺活量に占める割合です。

肺年齢 (71歳)

一秒量による肺年齢の評価です。COPD（慢性呼吸性肺疾患）評価。

実年齢に比して肺の年齢がいくつなのかを示します。

肺年齢についてご心配はいりません。

総合コメント：

同性同年代の平均値に比べて数値が良く、今後も定期的な肺機能検査を続けて健康を維持してください。

眼科的検査結果のお知らせ

緑内障や加齢黄斑変性などは中高年の方に起こる代表的な目の病気です。自覚症状がなく、気がつかないまま進行していることが多く、早期発見が重要です。早期に発見し、適正な治療を受けることで、生涯にわたり目を守ることができます。

眼圧（右 8.3 mmHg / 左 8.6 mmHg）（正常範囲 10 – 20 mmHg）

眼圧検査とは、眼球の内圧（眼圧）を測定する検査です。眼の中は、房水という液体が循環して、眼圧を保っています。

健康な目で、正常範囲10-20mmHgとほぼ一定です。房水の生産量と流出量のバランスが崩れると眼圧が高くなります。眼圧の値は、緑内障という視野がだんだん狭くなる病気を調べる際には必ず行われる重要な検査です。21mmHg以上の方は、眼科での精密検査をお勧め致します。特に30mmHg以上の方は早急に眼科を受診してください。

（緑内障の中には正常眼圧緑内障と言って、眼圧が正常範囲内でも視神経障害が進み、視野が狭くなるタイプがあります。日本ではこの正常眼圧緑内障の割合が高いので、眼圧の検査だけで緑内障がないとは言えません）

コメント：

低めですが、見え方などに問題なければ、経過観察で大丈夫です。

眼軸長（右 20.11 mm / 左 28.33 mm）（平均 24 mm）

眼軸長（眼の大きさ、長さ）とは、角膜頂点（眼の一番前）から網膜までの長さのことです。眼軸長は一人一人違います。眼軸の長い人は近視、短い人は遠視の傾向にあります。

強度近視は眼軸長が極端に伸びた状態です。近視が極端に強く、眼軸長がたとえば27mm以上ある方は、近視による網膜剥離、網脈絡膜萎縮（神経が変性する）、新生血管などの合併症の頻度が高いですので、視力が落ちてきている、ゆがんで見えるなどの症状が出てきた場合には、精密眼底検査を受けることをお勧めします。

逆に眼軸長が22mm以下と短い方は、遠視が強い状態です。

コメント：

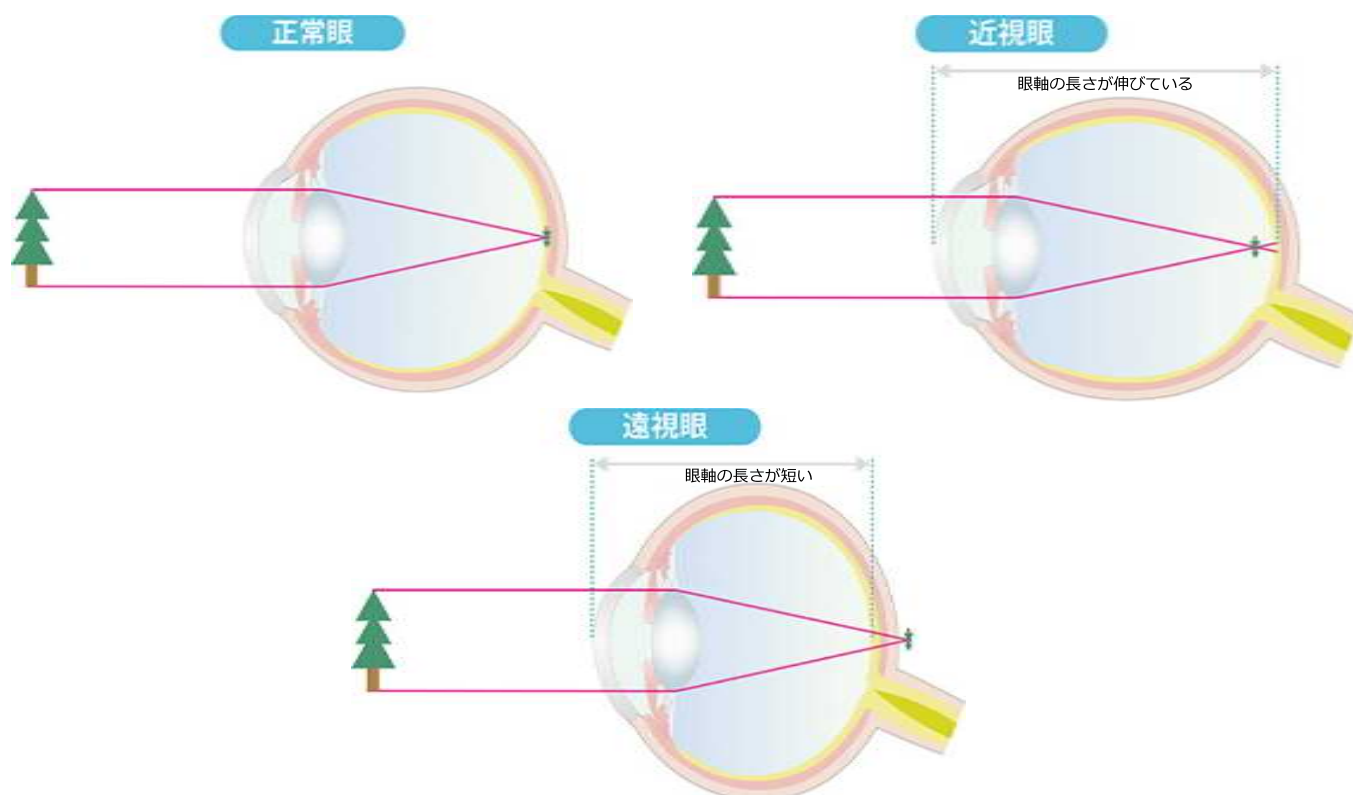
眼軸が長めです。視力が落ちてきている、ゆがんで見えるなどの症状が出てきた場合には、精密眼底検査を勧めます。

眼科的検査結果のお知らせ

屈折検査

	屈折球面度数 (近視, 遠視の度数)	乱視度数	乱視軸
右	(2.50 D)	(-2.50 D)	(91 度)
左	(1.75 D)	(-3.00 D)	(63 度)

調節を働かせない状態で、遠方から来た光（平行光線）が網膜にぴったり焦点を結ぶ眼を正常眼（正視眼）といいます。一方、焦点が網膜の前方にずれた眼を近視眼、後方にずれた眼を遠視眼といいます。乱視では平行光線が眼に入る角度により像が映る状態が異なり、1点に結像しない状態をいいます。この近視、遠視、乱視の状態を調べる検査が屈折検査です。



© 公益財団法人日本眼科学会より転載

調節とは、見ているものの距離に応じて、焦点を合わせるために屈折度を変化させることをいいます。調節力は、水晶体（注）を膨らませて近くにピントを合わせる力ですが、加齢などで弱まる場合があります。若い人ほど調節力（調節の幅）が大きいのですが、この力は加齢（老化）とともに衰えてきます。

（注）水晶体：人の眼には、「水晶体」と呼ばれる、眼のピントを調節するレンズの役割を果たす器官があります。水晶体は、筋肉の緊張と弛緩によって厚みや形状などが変化することで、違う距離にあるものに焦点を合わせることができます。

眼科的検査結果のお知らせ

屈折球面度数・乱視度数の基準値

* 基準値は学会等の基準を参考にしています

近視の基準値	遠視の基準値	乱視度数の基準値
① 弱度近視 - 0.5 D以下、 - 3.0 Dより大きい	① 弱度遠視 + 2.0 D以下	① 弱度乱視 - 1.0 Dより大きい
② 中等度近視 - 3.0 D以下、 - 6.0 Dより大きい	② 中等度遠視 + 2.0 Dより大きく + 5.0 D以下	② 中等度乱視 - 1.0 D以下 - 2.0 Dより大きい
③ 強度近視 - 6.0 D以下	③ 強度遠視 + 5.0 Dより大きい	③ 強度乱視 - 2.0 D以下

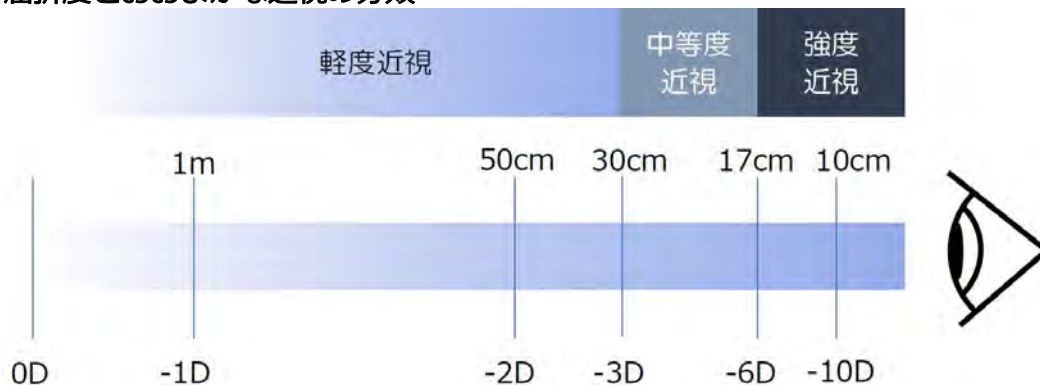
近視：眼軸（眼球の長さ＝角膜から網膜までの長さ）が長い、角膜や水晶体の屈折力が強すぎるため、網膜よりも手前に光の焦点が結ばれてしまい、遠くがぼやけて見える状態です。コンタクトレンズやメガネの凹レンズによって網膜上にピントを合わせることで、はっきり見えるようになります。近視の強さは、裸眼視力ではなく屈折度数で表されます。

屈折度の単位はジオプトリー（D）が用いられ、ピントが合う距離（メートル）の逆数で求められる数値です。たとえば、裸眼の状態でも0.5m（50cm）先にピントが合っているとすると、 $1 \div 0.5 = 2$ となり、近視度は-2.0Dです。近視は「マイナス（-）」、遠視は「プラス（+）」で表示されます。

近視の強さは、裸眼視力ではなく屈折の度数により分類されます。D値の数字が大きいほど度数が強くなり、近視（+の場合は遠視）の程度が進んでいることになります。

お子さんの場合、調節により屈折度数が変化してしまう可能性があるため、正確で無い場合があります。（*眼科で正確に測る必要がある場合があります）

屈折度とおおまかな近視の分類



遠視：眼軸が短い、角膜や水晶体の屈折が弱すぎるため網膜よりも後方に焦点が結ばれてしまい、遠くも近くもピントが合わせにくい状態です。凸レンズによって網膜上にピントを合わせることで、はっきり見えるようになります。

乱視：角膜や、目の中でレンズの役割をする水晶体のゆがみにより、目に入る光を網膜上の1点で結べない状態をいいます。通常の方は、-0.75Dくらいまでの乱視を持っています。-1.5D以下の乱視の方は眼鏡等で矯正が必要になることが多くなります。乱視度は、数値が大きくなるほど乱視が強いことを表します。

乱視軸：乱視の角度のことで、0～180度の数値で表されます。

眼科的検査結果のお知らせ

眼底検査

眼底疾患の有無 (有)

右：黄斑前膜の疑い
夕焼け状眼底の疑い

左：夕焼け状眼底の疑い
黄斑変性の疑い

眼底検査とは、瞳の奥にある眼底を、眼底カメラを用い眼底の血管、網膜、視神経を調べる検査です。いわゆる眼底出血（糖尿病網膜症、網膜静脈閉塞症、加齢黄斑変性など）や緑内障の可能性がわかります。

視神経乳頭陥凹拡大の有無 (無)

乳頭陥凹拡大がある場合は、緑内障の疑いがあります。緑内障の確定診断は視野検査が必要となります。

※これは健康調査であり、正確な状況を反映していない場合があります。現在、眼科に受診中の方は、健康調査の結果に関わらず、お近くの眼科に継続して受診してください。
今回は瞳孔（ひとみ）を開く散瞳剤を使用しておりませんので、検査の際に写真がうまく撮像できなかった場合は、眼底疾患、視神経乳頭陥凹拡大の有無を読影できない場合があります。
ご心配な方は、お近くの眼科を受診してください。

疾患の説明

・夕焼け状眼底の疑い

メラニン色素の少ない眼底（夕焼け状眼底の疑い）です。霧視（かすみ）、視力低下等を生じるぶどう膜炎の1種である、原田病に以前かかった可能性を思わせる所見です。現在何も症状がなければ経過観察で構いませんが、症状のある方は、一度眼科で眼底検査を受けることをおすすめします。

・黄斑前膜

網膜の中心部にある黄斑という部位の上に膜が癒着し、網膜にしわが出来て、物が歪んで見えたり視力が低下したりします。現在全く症状がなければ、早期であり経過観察になることが多いです。悪化した場合には手術が必要になることもあります。

・黄斑変性

網膜の中心部にある黄斑という部位において、網膜が萎縮し変性する場合や、新生血管という悪い血管が発生し網膜がむくんだり、出血を起こすことで、視力が低下したり物が歪んで見える場合があります。一度診察をお勧めします。新生血管という悪い血管が発生した場合は、早期に薬物治療やレーザーが必要になることがあります。

歯科検診結果のお知らせ

今回の歯科検診結果は以下のとおりです。

判定 異常なし

- a. 歯石除去
- b. 歯ぐきの治療
- c. むし歯の治療 (むし歯は無いようです)
- d. ブリッジや入れ歯の治療
- e. その他 ()

あなたのお口の中には現在、(0) 本の歯が残っています。

「異常なし」と判定された方へ

これからも定期的に検診を受けながら、お口の健康を保っていくよう心がけてください。

「要受診」と判定された方へ

かかりつけの歯科医院、またはお近くの歯科医院を受診されますようお勧めします。
なお、歯科医院を受診される際には通常の医療費が必要になります。

詳細三次調査 血液・尿検査報告書

※検査報告書の見方は、以降のページを参照してください。

	項目名	基準値	検査値			
			今回 2021/10/29	今回のコメント	前回 2017/10/10	前々回 2014/11/12
感染症	新型コロナウイルス抗体 (抗S抗体定量) (U/mL)	0.8未満 (陰性)	250000 (陽性)	今回の検査値では基準値よりも高い値です。新型コロナウイルスに対する抗体を獲得している可能性があります。一方、今回の抗体検査では、過去に新型コロナウイルスに感染した結果か、ワクチンで抗体を獲得した結果かは区別できません。抗体がどの程度持続するかは個人差がある可能性がありますので、引き続き感染症予防には十分お気を付けください。	—	—
循環器	NT-proBNP (pg/mL)	125以下	485.0	NT-pro BNP値が高値ですので早急に医師にご相談ください。	385.0	—
腎機能	尿素窒素 (mg/dL)	8.0~20.0	18.2	今回の検査値は基準値範囲内です。	20.4	21.8
	クレアチニン (mg/dL)	男性:1.04以下 女性:0.79以下	0.80	腎機能がやや低下している可能性があります。日常生活に気を付けてお過ごしください。むくみ・だるさ等の症状がある場合は、医師にご相談ください。	0.82	0.83
	尿中アルブミン (mg/g・Cre)	30.0未満	5.1	今回の検査値は基準値範囲内です。	3.6	2.7
アレルギー	非特異的IgE (IU/mL)	170以下	130	今回の検査値は、基準値以下でした。	—	122
C蛋白反応性	CRP定量 (mg/dL)	0.29以下	0.13	今回の結果値は基準値範囲内です。	0.03	—
甲状腺	TSH (μIU/mL) (甲状腺刺激ホルモン)	0.350~4.94	1.270	今回の結果値は基準値範囲内です。	1.070	—
	FT3 (pg/mL) (遊離トリヨードサイロニン)	1.71~3.71	1.84	今回の結果値は基準値範囲内です。	2.66	—
	FT4 (ng/dL) (遊離サイロキシン)	0.70~1.48	0.91	今回の結果値は基準値範囲内です。	0.99	—

*** 検体量不足／細胞数不足などにより検査ができませんでした。
— 検査を行っておりません。

新型コロナウイルス抗体検査の測定結果が測定範囲（0.40～250000）から外れる場合、

- ・測定値が0.40未満の場合は「0.40」
- ・測定値が250000以上の場合は「250000」

とそれぞれ印字されます。

	項目名	基準値	検査値			
			今回 2021/10/29	今回のコメント	前回 2017/10/10	前々回 2014/11/12
糖 代 謝	血糖（グルコース） (mg/dL)	70～109	115	血糖が高めですので、念のため医師にご相談ください。	88	80
	HbA1c (%)	6.2以下 (NGSP値)	7.1	今回の結果、過去1～2か月の血糖値が高値を示しました。念のため医師にご相談ください。	7.2	7.1
肝 機 能	GOT (U/L)	40以下	20	今回の検査値は基準値範囲内です。	20	18
	GPT (U/L)	45以下	15	今回の検査値は基準値範囲内です。	14	11
	γ-GTP (U/L)	男性:80以下 女性:30以下	13	今回の検査値は基準値範囲内です。	14	16
尿 酸	尿酸(UA) (mg/dL)	男性:3.8～7.0 女性:2.5～7.0	3.8	今回の検査値は基準値範囲内です。	6.6	8.1
脂 質	中性脂肪 (mg/dL)	149以下	86	今回の検査値は基準値範囲内です。	68	65
	総コレステロール (mg/dL)	120～219	125	今回の検査値は基準値範囲内です。	173	168
	HDLコレステロール (mg/dL)	男性:40～85 女性:40～95	41	今回の検査値は基準値範囲内です。	47	43
血 液 一 般 / 血 液 像	赤血球数 (RBC) (×10 ⁴ /μL)	男性:430～570 女性:380～500	392	今回の検査値は基準値範囲内です。	421	430
	ヘモグロビン (Hb) (g/dL)	男性:13.5～17.5 女性:11.5～15.0	12.8	今回の検査値は基準値範囲内です。	12.0	12.4
	ヘマトクリット値 (Hct) (%)	男性:39.7～52.4 女性:34.8～45.0	37.1	今回の検査値は基準値範囲内です。	37.6	38.5
	MCV (fL)	85～102	95	今回の結果は基準値範囲内にありました。	96	91
	MCH (pg)	28.0～34.0	30.1		29.8	29.2
	MCHC (%)	30.2～35.1	31.0		31.1	32.1
	白血球数 (WBC) (/μL)	3300～9000	5900	今回の検査値は基準値範囲内です。	6800	7200
白 血 球 分 画	好塩基球	0.0～2.0	0.5	今回の検査値は基準値範囲内です。	0.3	0.3
	好酸球	0.0～8.0	2.5	今回の検査値は基準値範囲内です。	4.6	6.2
	好中球 (%)	40.0～75.0	58.2	今回の検査値は基準値範囲内です。	62.5	53.6
	桿状核球 (%)	1.0～7.0	***	今回は、桿状核球と分葉核球をセットで測定し、好中球として報告しています。	***	***
	分葉核球 (%)	34.0～70.0	***	今回は、桿状核球と分葉核球をセットで測定し、好中球として報告しています。	***	***
	リンパ球 (%)	18.0～49.0	35.3	今回の検査値は基準値範囲内です。	30.0	34.5
	単球 (%)	2.0～10.0	4.5	今回の検査値は基準値範囲内です。	4.5	5.3
	芽球 (%)	0	0	今回の検査値は基準値範囲内です。	0	0.0
	血小板 (Plt) (×10 ⁴ /μL)	14.0～34.0	25.4	今回の検査値は基準値範囲内です。	30.1	19.6

ご妊娠中の方は、通常と体の状態が異なるため、健康状態を正確に反映していない可能性があります。
今回の結果はあくまで参考値となります。

地域住民コホート調査にご参加の方は、市町村の健診データとの重なりを懸念して、これまで一部の結果をお返ししておりませんでしたが、前回・前々回の結果として記載しております。

結果の見方です。血液・尿検査の結果とあわせてご覧ください。

1. 感染症

・新型コロナウイルス抗体（抗S抗体定量）

過去に新型コロナウイルスに感染したか、またはワクチンで抗体を獲得したかを調べます。

2. 循環器

・NT-proBNP

心臓に負担がかかった状態（心不全）かどうかを調べます。

3. 腎機能

・尿素窒素、クレアチニン

腎臓の働きを表す指標のひとつです。腎機能が低下すると血液中に増加します。

4. アレルギー

・非特異的IgE

何らかのアレルゲンに反応しているかどうかの指標です。

5. C反応性蛋白

・CRP定量

炎症の存在や程度を反映するマーカーです。感染症や慢性的な炎症をきたす病気で上昇します。

6. 甲状腺

・TSH（甲状腺刺激ホルモン）

甲状腺ホルモンの分泌量をコントロールするホルモンになります。

・FT3（遊離トリヨードサイロニン）

・FT4（遊離サイロキシン）

TSHからの刺激を受けて甲状腺から分泌されるホルモンになります。

7. 糖代謝

・血糖（グルコース）

血液中のブドウ糖の値で糖尿病では高値となりますが、検査前の食事の影響を受けて時間とともに変化します。

・HbA1c

過去1～2か月の血糖値の平均を反映しています。検査直前の食事の影響を受けにくいという傾向があります。

8. 肝機能

・GOT、GPT

急性・慢性肝炎・脂肪肝・アルコール性肝障害などで、肝臓の細胞が障害されると上昇します。

・γ-GTP

特にアルコール性肝障害に敏感に反応し、飲酒量と関連があります。胆汁の流れが悪い時にも高くなります。

9. 尿酸

・尿酸（UA）

プリン体が分解してできた老廃物で、尿酸値が高い状態が続くと痛風・尿路結石・動脈硬化の原因となります。

10. 脂質

・中性脂肪

栄養の摂りすぎやお酒の飲みすぎで中性脂肪が増えすぎると内臓脂肪が増し、動脈硬化を引き起こす原因になります。

・総コレステロール

コレステロールは身体の中で様々なホルモンの原料となったり、細胞を維持するために大切ですが、多すぎると動脈硬化の原因になります。

・HDLコレステロール

血管の壁に付いた余分なコレステロールを運び出す働きをします。
善玉コレステロールとも呼ばれ、少ないと動脈硬化を起こしやすくなります。

11. 血液一般

・白血球数（WBC）

白血球数の増減により感染や免疫低下、白血病などの判断を行います。

・赤血球数（RBC）、ヘモグロビン（Hb）

赤血球数やヘモグロビンが少なかったり、いわゆる貧血があると、疲れやめまい、息切れ等の症状があらわれます。
鉄分の不足などの栄養の偏り、あるいは、胃・十二指腸潰瘍、痔、子宮筋腫などで出血が多い場合にしばしば貧血が見られます。

・血小板（Plt）

止血の役割を果たしています。少ないと出血しやすく、多すぎると血栓が起きやすくなります。

今回の健康調査は、皆さまの健康状態を総合的に診断するものではありません。

健康管理のため、健康診断は必ず定期的にお受け下さい。



検査で異常があった方、お身体に不調を感じた方は、かかりつけの医療機関にご相談ください。

検査の内容に関するお問い合わせは、下記にてお受けいたします。



検査内容に関するお問い合わせ



地域住民コホート担当（三世代コホート調査ご参加の20歳以上の方からのお問い合わせもお受けいたします）

022-718-5161

受付時間：平日 9:00～16:30

東北大学東北メディカル・メガバンク機構（〒980-8573 仙台市青葉区星陵町2-1）

***今回の検査費用は無料です。振り込め詐欺にご注意ください。**